

令和4年度 第2回丸亀市廃棄物減量等推進審議会 議事録

1. 日時 令和5年2月10日(金) 14時開会 15時10分閉会

2. 場所 クリーンセンター丸亀2階 研修室

3. 出席者 12名(敬称略)

審議会	委員	三好 祐輔	委員	大井 一栄
	委員	丸岡 俊晴	委員	池田 和代
	委員	長町 祐子	委員	山川 政明
	委員	秋山 ともえ	委員	川田 美紀
	委員	在本 貴博	委員	朝田 秀孝
	委員	林 誠	委員	三原 繁子

事務局	市民生活部	部長	田中 壽紀
	クリーン課	課長	二宮 卓也
		副課長(管理担当長)	森近 康秀
		衛生担当長	大西 健二
		廃棄物指導担当長	宮崎 達夫
		廃棄物指導担当 主査	大前 弘樹
		廃棄物指導担当 主査	久保 慶太郎
		廃棄物指導担当 主査	宮内 隆行
		廃棄物指導担当 副主任	斎藤 喬祐
		衛生担当 副主任	北岡 裕也
		管理担当 主任	丸岡 由美

4. 欠席者 2名

委員	高木 正之	委員	守家 芳美
----	-------	----	-------

5. 傍聴者 0名

6. 開会

当該会議録について、議事録調整のため録音する旨告知する。

7. 挨拶

市民生活部長 田中 壽紀

8. 審議会 開催

(1) 会議の成立

審議会委員 14名中 12名が出席 → 本会の成立を報告

(2) 議題・質疑 (会長が議長となり議事を進行)

(議題 1) 令和4年度丸亀市一般廃棄物処理実施計画の進捗状況について

・事務局より説明 (クリーン課長)

・委員 食品ロスパネルを中央図書館で展示したとあったが、お子さんの利用が多い飯山図書館でも展示してもらいたい。

説明のあった廃食油の回収拠点拡大について、具体的にはコミュニティセンターを考えているのか。

・事務局 市内のコミュニティセンターのうち、現在は2か所で回収している。順々に増やしていきたいと考えている。コミュニティの方との話し合いがうまくいけば随時増やしていきたい。

・委員 協力はしたいが、現在コミュニティセンターの小型家電置場に、テレビなどが出されている。センターの職員もずっと監視することができるわけではないので、廃食油の回収についても配慮をお願いしたい。

・事務局 廃食油については、原則窓口申し出てもらい鍵を開けて回収しているので、そのあたりも説明させていただき、相談させていただく。

・委員 廃食油の拠点拡大について順次進めていくとあるが、コミュニティセンターに打診したがだめだった…といった、進捗について具体的な話が無かった。どのような取り組みをしたのかを示してほしい。

・事務局 飯山、綾歌地区での回収について、地区のコミュニティセンターと話をしたうえで、利便性も考慮して市民総合センターでの回収となり、拠点を2か所増やしている。

・委員 市内のコミュニティに依頼して、協力についての回答がどうだったなどの話はあるか。

・事務局 コミュニティ会長会の場合などで、協力依頼している。回収場所のスペースの問題もあり、一度に全地区とはいかないが、引き続き協力を依頼し

拠点拡大に努めていく。

- ・ 委員 ペットボトルのことや食品ロスなどの問題について、市は広報やホームページで周知をしているとあったが、自治会回覧やスーパーなどで容器回収している場所などに、ごみの出し方、ペットボトルの正しい出し方などを示す看板を設置してはどうか。
- ・ 事務局 広く市民の方に周知できる方法について、効果的な方法について検討し対応していく。
- ・ 委員 各スーパーにも協力してもらう必要があると思うが。
- ・ 事務局 現在、容器包装プラスチック回収について、スーパーなどへ出向きアンケート調査を行っている。ペットボトルの出し方の注意についても、スーパーのご意見を聞きながらできる方法については取り組んでいきたい。
- ・ 委員 資料の中に資源ごみの回収についてあるが、蛍光灯や電池などは処理委託料として支払っているようだ。水銀による環境汚染を防止するために、あえて出費して対応していると思うが、他に資源ごみとして回収して有価物になっていないものはあるか。
- ・ 事務局 資料で示しているが、小型家電は当初は有償で引き取ってもらっていたが、令和3年度からは逆有償として、1キロあたり7円支払って処理をしている。そのほかに、ビンも処理に費用がかかっている。
- ・ 委員 資源ごみの当番をしている時に、発泡スチロールやトレー、ペットボトルのキャップなどを回収していたところから引っ越してきた人から、丸亀市は燃やすごみなのかと聞かれることがある。各市町でごみの計画を決めていると聞いているが、県内、難しければ中讃圏内だけでも、様々な分別方法を統一する方向で協議を進めていってほしい。
- ・ 事務局 市町ごとに、中間処理施設の用地や設備が異なるため、難しい点はある。そういった点を踏まえたうえで、丸亀市としてどうしていくか検討していく。
- ・ 委員 各自治体に事情はあると思うが、SDGsの観点からも全国に先駆けて県をあげて取り組むよう、丸亀市から県に要望して進めてほしい。
- ・ 事務局 県では、県内を数地区に分けたブロック会議を開催している。丸亀市も参加しているので、会議の状況に合わせて取り組んでいきたい。
- ・ 委員 ブロック会議は定期的には開催されているのか。
- ・ 事務局 2回開催されました。
- ・ 委員 この話題については継続して取り組んでいるのか。
- ・ 事務局 各ブロックの担当者レベルの職員が集まる会議が2回開催された。その会議には香川県廃棄物対策課も参加している。会議の内容としては、各市町の現状や取り組みを聞きといった情報共有を行ったところ。

- ・委員 香川県としての、主導的な取り組みなどについて話はあるのか。
- ・事務局 ごみ処理は各自治体で取り組むことでもあるので、香川県廃棄物対策課はオブザーバー的な立場で参加している。他県の取り組み状況や、全国的に先進的な取り組みをしている自治体の情報提供などはしてくれる。
- ・委員 香川県としては、各自治体の状況に任せているということか。市町の実態を抜本的に見直して香川県として、将来的に廃プラスチックの処理を進めていくといった話は無いのか。
- ・事務局 現時点では、県が率先してといった話にはなっていないが、今後の社会情勢の変化なども見ながら、ブロック会議などで協議しながら取り組んでいく。
- ・委員 資源ごみの朝出しの徹底について説明があったが、持ち去りだけでなく防犯面で懸念がある。特に紙類などは暗いうちから出すことで、たばこのポイ捨てなどで火災の危険もある。盗難についてだけでなく、防犯の観点からも、前の日から出さず収集日の朝出しについて周知を図ってもらいたい。

(議題2) 令和5年度丸亀市一般廃棄物処理実施計画(案)について

- ・事務局より説明(クリーン課長)
- ・委員 廃プラスチックやトレーの回収について、先の議題で中間処理施設の整備など課題があると聞いた。この令和5年度の計画(案)には、廃プラスチックの収集について具体的な記載が無いが、今後の構想などがあれば教えてほしい。
- ・事務局 廃プラスチックをどのように処理するか、また収集方法はどうかといったことについて、市内のスーパーへのアンケートを行っているところなので、意見を聞きながら検討していく予定です。
- ・委員 資料に記載のある、市役所やコミュニティセンター、学校等に回収ボックスを設置する「ボックス収集」に、事業所の回収ボックスは含まれているか。
- ・事務局 事業所から排出される物は事業系廃棄物として取り扱うので、この部分には含んでいません。
- ・委員 私が住んでいる地域で、水害に備えて地域の水路などを掃除するよう話を進めているが、そこで出たごみの回収はクリーン課に依頼するのでよいか。
- ・事務局 用水路の清掃については、農林水産課が担当しているので、事前に相談してください。
- ・委員 資料にある、河川等の一斉清掃とは何が違うのか。

- ・事務局 河川等の一斉清掃とは、建設課が所管している河川の清掃のことを指している。

(議題3) その他

- ・事務局 2点ありますが、1点目は指定ごみ袋について。現在の4種類の大きさに加え、単身世帯や高齢者世帯といった少人数世帯のニーズに対応するため、令和5年度から小サイズより小さな「特小」サイズを導入する予定。この特小サイズのごみ袋は、スーパーなどでマイバッグを忘れた方に、レジ袋購入の代替品として使用してもらえるよう検討を進めます。もう1点は、容器包装廃プラスチックの収集に向けて、スーパーなどに行っているアンケート調査結果をうけ、事業者の意見を聞きながら、拠点回収などの実施に向けた取り組みについて検討していきます。
- ・委員 特小サイズのごみ袋の値段はどのように考えているか。
- ・事務局 小サイズが20円。製作にかかる費用も考慮して15円と考えている。
- ・委員 特小サイズのごみ袋をマイバッグ代わりにと説明を受けたが、坂出市のようにバラ売りで販売する予定はあるか。
- ・事務局 現在は10枚単位で販売しているので、バラ売りについては販売店にお願いし協力していただこうと考えている。

審議会終了

議長降壇

9. 閉会